

科目名	機械技術演習	英語科目名	Exercise of Mechanical Engineering	
開講年度・学期	平成25年度・前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	1単位	単位種類	履修単位 (30h)	
担当教員	機械工学科全教員	居室 (もしくは所属)	機械工学科	
電話	各教員	E-mail	各教員	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
演習や実技を伴う専門科目について、指導を受けながら、学生自らが学習計画を立て、演習や実技を繰り返し、深く学び、知識と技能を習得する。これを通じて、学生自らの学習態度や方法に気づかせ、主体的に学習する意欲を喚起する。		(A-1) (A-2) (A-3) (B-1) (D-2)	(d), (f), (g)	
1. 学習計画を立てて主体的に学習できる。				
2. 基礎的な知識や技能を習得し、それらの関連がわかる。				
3. 学習成果を発表できる。				
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1. 学習計画、発表能力、学習成果報告によって評価する。				
2. 指導教員がそれぞれ評価する。				
評価方法				
1～3. 受講態度、発表の内容により総合的に評価する。				
授業内容				
1. 担当教員と相談し、専門科目を選択する。－ (1週)				
2. 学生自らが選択した科目の学習計画を立て、指導教員と相談する。－ (2週)				
3. 演習と実技を繰り返しながら学習する。－ (8週)				
4. 学生自らが正しい知識を効果的に学習できる演習問題を作成し、その効果の評価方法についても研究する。－ (2週)				
5. 学習成果を発表する。発表資料の作成。－ (1週)				
6. 学習成果を報告書にまとめる。レポートの作成。－ (1週)				
キーワード	創造性、基礎力の定着、学習方法			
教科書				
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	各テーマによる			
現学年の関連科目	各テーマによる			
次年度以降の関連科目	各テーマによる			
連絡事項				
1. 科目担当教員の指導を受け、実技や演習を伴う第4学年までに学習した科目について学習計画を立て、学生が主体的に学習し、教員の試問を受け、基礎力を確認する。				
2. 学生自らが主体的な学習の大切さを認識し、学習に対する目的や取り組みに気づかせる。				
3. 自分の理解のレベルを認識し、どう学んだらよいか、自らが気づいてほしい。その時が自ら主体的に学習する好機となる。				
シラバス作成年月日	平成25年3月31日			